

以前の代表のプロフィール

氏名：サラ バーゲン

年齢：21歳

学年：アイダホ州立大学

2年

専攻/学科：副専攻 日本語

専攻 国際学

岩見沢市を訪れた年とホストフ

ァミリーの名前：2006年、上

田家



1.この旅行の思い出をひとつ簡単に教えて下さい。

ある晩の夕飯で梅干が出ました。すっぱいことは分かっていたのですが、失礼にあたりたくなかったので、食べました。その時の私のすっぱい顔がおかしかったみたいでお母さんを笑わせてしまい、私も笑ってしまいました。また、皆でテレビを見ていたとき、テレビが突然止まってしまい、お父さんが孫の手を私に渡し、テレビをそれで叩くとまたつくよと教えてくれました。最初はあまり強くテレビを叩きたくなかったのですが、2回目に叩いたときにつきました。けっこう面白かったです。またお母さんがバッタを見つけたり、私が捕まえてきた時、プラスチックの籠に入れてテーブルの上においてました。あとで逃がしたとは思いますが、面白かったのは、バッタが跳ねたり、また何か跳ねるものがあると、お母さんがそのたびに“ピョン、ピョン、ピョン”と言っていたのが面白かったです。

2.最近何をしていますか？

大学に入学し、2009年の秋には大学3年生になります。副専攻として日本語をとっています。また政治学も勉強しました。国際学で専攻として国際関係学をとっています。日本に行った後、親戚を尋ねてカナダに何回か行きました。そして2009年の夏にPingtung (屏東県) に中国語と文化を学びに2ヶ月間行きました。とてもすばらしい経験でした。約3年間日本語を勉強していたし中国語が分からなかったのが最初は慣れるまで大変でしたが、しばらくしてからは結構楽しく、良い時を過ごすことができました。私のルームメイトと彼女の友達は英語を話す事ができたので私を随分と助けてくれました。また私の周りにいるとき中国語を話すようにしてくれたので、多分アメリカの教室にいて中国語を習うよりも早く学べたのではないかと思います。皆協力的でとても親切でした。台湾滞在中に台風Morakotが上陸しました。台風の中でも私のルームメイトとTUSAプログラムの関係者はアメリカと台湾の学生の朝、昼、夕食をオーダーしに出かけてくれました。

台風の中自分たちの安全を無視してまでもアメリカと台湾の学生に十分な食料があるかどうかと考慮してくれたことには感謝の言葉しかありません。このプログラムに関係した人々皆私たちが大丈夫であるか、必要なものはないか、宿泊先などと、お世話をしてくれました。この旅行ではとても感動しました。台湾にはスローガンがありました。台湾：感動させます、そしてそれは本当でした。台湾は本当に私の心を動かしました。でも私が旅行した先々で出会った人々は私に素晴らしい思い出を残してくれました。旅行(9月の終わりに1週間また日本に行きます)の他に私が好きなことは本やコミックを英語や日本語また今では中国語で読むことです。他の言語で本を読むのはもっと好きです。全てを理解できないかもしれないけど、楽しいです。読書は私の最大の趣味ですが著作やミュージックビデオやスライドショーを作ったりするのも好きです。Youtubeに台湾で友達たちと楽しんでいる様子のビデオを載せたばかりです。

3. 5年後に何をしていますか？

はっきりとはわかりませんが、理想を言えば、言葉の面でも助けられるような日本か中国など私が知っている国を家族と一緒に旅行したいです。ツアーガイドになって通訳をして家族を助けたいです。とても楽しみです。私の両親と一緒に日本の番組を見るので多分少し日本語を知っているといます。父と私は映画を一緒に見るのが好きです。フランス、韓国、日本、中国そしてスペインなどの映画も一緒に見ました。台湾にいた時に中国語の先生と友達が見せてくれた映画を見つけました。また、歌を中国語の手話で習ったり、中国のカラオケもしました。

岩見沢の皆さんに何か伝えたいことはありますか？

はい！皆さんお元気であることと思います。連絡が途絶えてしまいましたが、私のホストファミリーをはじめ、このプログラムにかかわった方々にとても感謝しています。私のホストファミリー、見ず知らずの私を滞在させてくださり、世話をしてくれ、楽しいことをたくさん経験させてくれたことに感謝しています。お母さん：とても親切で、料理も上手で日本食が大好きになってしまいました！！ お父さん：お父さんの盆栽はとても素敵で、綺麗でした。あの時日本語があまり上手ではなかったのに、“かわいい”と言ったつもりでしたが、多分“こわい”と聞こえてたかもしれませんね。お二人のことをよく思い出します。すぐに会うことはできませんが私の岩見沢の滞在を素晴らしいものにしてくれたこと、そしてお二人の優しさを忘れることはありません。本当にありがとうございました。岩見沢の皆さん、日本、ありがとうございました。



終